

打合せ議事録 Meeting Minute	日時 Date/Time	2008年 2月 23日(土) (14時00分 ~17時00分)	苫小牧工業高等専門学校 樽前会西日本支部 Tomakomai National College of Technology Alumni Association "Tarumae kai" West Branch	確認 (Checked)	作成 (Draft)	Page No. (1/1)
	場所 (Place)	大阪弥生会館		植木	村上	
	主催 (Organizer)	西日本支部支部長		12/MAR/'08	23/Feb/'08	管理No. 6
件名 (Subject)						
第2回 樽前会 西日本支部総会 兼 第2回講演会						
出席者 (Attendance)						
出席者: 植木、大内、森、中野、中村(洋)、中村(信)、南部、嶋口、村上、小野木、賀集、中村(裕)、加藤<新入> 西部<初参加>、原口、真鍋、田中						
目的及び主要議題 (Object / Agenda)						
2007年度活動実績報告、2008年度活動計画の各詳細審議および。						
内容及び決定事項 (Item to Decided)						備考 (Remarks)
<p>1. 第2回総会 出席者確認 —— 配布資料「第2回樽前会西日本支部総会資料」</p> <p>1) 出席者: 植木会長他 18名(Attendance参照)</p> <p>2) 欠席者: <幹事>中村(雅)、馬場、石川、長嶺、佐藤、堀、澤井、上西、奥土 他 資料に記載</p> <p>2. 会員の入会・移動等の動静確認</p> <p>1) 新会員 加藤 誠伸 (M-1) 新居浜-SMMプラントエンジニアリング</p> <p>2) 転出会員 渡辺 忍 (C-16) 江別に呉から転勤-王子製紙</p> <p>3) 転出会員 成田 裕司 (M-33) 栃木に彦根から転勤-ブリジストン その他 神埼、SMMの同窓生2名追加予定</p> <p>3. 「2007年活動報告」 —— 詳細は配布資料による</p> <p>1) 2007年3月10日(土): 講演会開催<於: 大阪弥生会館> 「滋賀県立大学 工学部 機械システム科」 山根浩二教授 (機械12期卒) → 「バイオディーゼル燃料普及へに課題と展望」: 聴講者 13名</p> <p>2) 2007年8月9日(木): 臨時支部幹事会開催<於: 大阪弥生会館> 「支部名称変更審議」 本校同窓会が「樽前会」と銘銘したことにより、樽前会西日本支部とすることで 幹事会は了承し支部会則も関連部分の改定を実施した。<版番号は01版となる></p> <p>3) 全国高専体育大会に本校卓球部(団体準優勝)、剣道部(団体3位)・水泳部(個人2位)・陸上部・バドミントン部・硬式野球部・ソフトテニス部・柔道部が出場した。 8月25日(土) 丸亀高専に植木・森・小野木・賀集・加藤の5名が応援・激励訪問</p> <p>4) 収支状況 —— 明細は配布資料による</p> <p>A. 繰越 = 1,325-</p> <p>B. 収入 = 281,050-</p> <p>C. 支出 = 171,350- (臨時幹事会関連費用および通信費用)</p> <p>D. 残高 = 111,025- (本総会支出含め)</p> <p>残高は2008年度へ繰越する</p> <p>4. 「2007年度活動報告」に関する質疑応答および承認</p> <p>1) 本校の対外活動応援は体育大会のみか? → 四国の体育大会に有志で出向き、東京開催のロボコンには行っていない。</p> <p>2) 活動実績について、満場一致で承認した</p> <p>5. 「2008年度活動計画(案)」について —— 詳細配布資料</p> <p>1) 同窓会本部への活動支援金に関しては、07年度並みの20万円を申請する。</p> <p>2) 総会、講演会を07年度同様に開催する。</p> <p>3) 講演会講師の選定を検討中。 高野山 河野氏等で打診を検討、会員の中でも題材があれば検討 同窓生各位の自選他薦は大歓迎。</p>						

- 4) 2008年4月19日(土) 札幌支部の設立記念総会があり、西日本支部から訪札予定
- 5) 2008年度総会について—— 開催時期は2月が適切か?
- 6) 広報関係
樽前会 HP に 2007 年同様、活動予定や実績報告を掲載予定。

6. 「2008 年度活動計画:に関する質疑応答及び承認

- 1) 講演会の時期や内容について継続検討をする。
開催場所を大阪弥生会館以外でも検討する。
→ 幹事会へ一任する
- 2) 誰が札幌支部の設立記念総会へ出席するのか?
→ 支部長が代表して訪札する予定である。
- 3) 支部総会の開催時期は2月以外で可能か?
→ 12月、1月、3月は時期的に仕事の山があり2月が良い
- 4) 継続検討事項を残して、満場一致で承認した。

7. 「講演会:鉄道の足回り技術について」

—— 住友金属工業(株)交通産機品カンパニー製鋼所 輪軸製造部
植木 専任部長

- 1) 鉄道の歴史
人力荷車→家畜荷馬車→人力トロッコ-*->蒸気機関の発明による機関車登場で
鉄道が大きく進歩し、高速大量輸送時代となった。
- 2) 鉄道技術の進歩
車輪構造、台車構造の発達が発達の決め手であり、事故の教訓が積み上げられて
いる。
- 3) 車輪のクラック、競合脱線など解決すべき問題があるが確実に進歩している。 高速化と安全
の両面でのあくなき追求である。<EU-TGV と新幹線>
- 4) 新幹線 N-700 系の台車紹介—— N-700 系をその筋の専門家は Z 系と呼んでいる！
- 5) 新技術
 - A. DMV (Dual Mode Vehicle): 過疎地で利用が見込まれる鉄道／道路の両用車両
バスサイズで乗車定員が少ないのが難点 <JR 北海道で試験中>
 - B. 青函トンネル専用貨車輸送車両
新幹線の開通で運行数の多い貨車の運転速度を上げる事が必要となり、トンネル専用
貨車の開発が進行中。

8. 懇親会

- 1) 1 期生 加藤 氏が新居浜から駆けつけ、設立総会並の新顔合わせがあちこちで花開い
た。
- 2) 4 期生 西部 氏が会合初参加し、こちらも新顔合わせとなった。

9. 散会

17:30 再会を誓い名残惜しく散会

【配布資料】

- 1. 2007年第二回支部総会資料